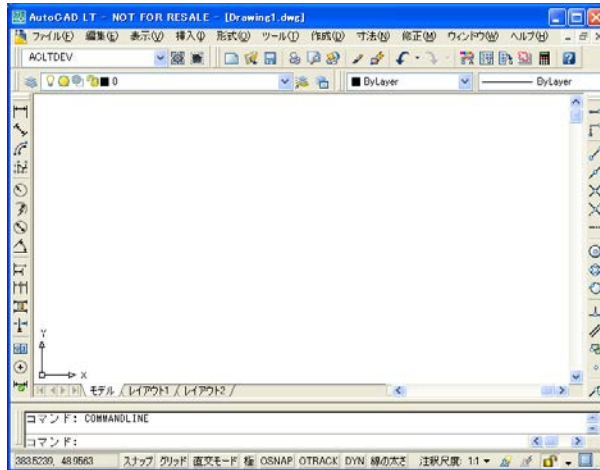


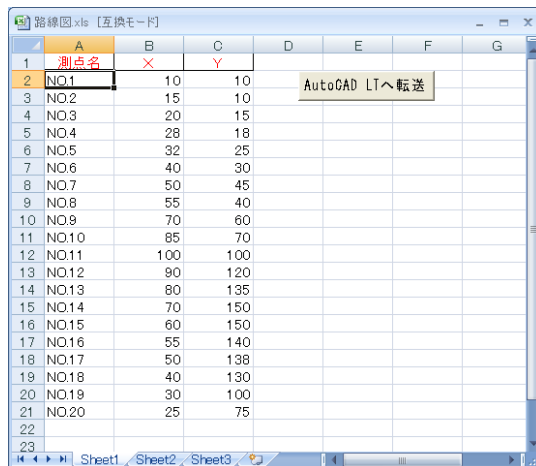
Excel とリンクする

① 路線図.xls

Step1-AutoCAD LT を起動しておきます。(図面は問いません)



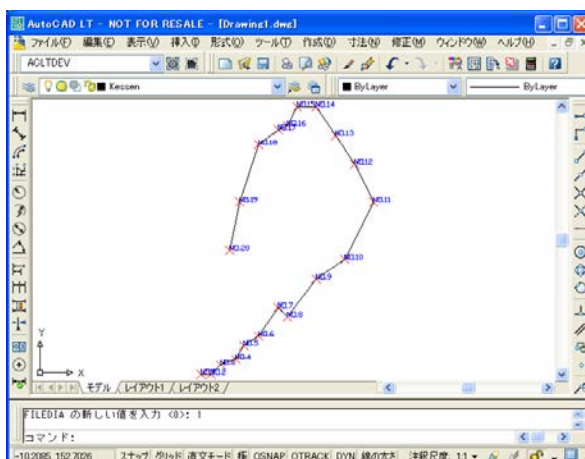
Step2-路線図.xls を起動し、「AutoCAD LT へ転送」ボタンを押します。



	A	B	C	D	E	F	G
1	測点名	X	Y				
2	NO.1	10	10	AutoCAD LTへ転送			
3	NO.2	15	10				
4	NO.3	20	15				
5	NO.4	28	18				
6	NO.5	32	25				
7	NO.6	40	30				
8	NO.7	50	45				
9	NO.8	55	40				
10	NO.9	70	60				
11	NO.10	85	70				
12	NO.11	100	100				
13	NO.12	90	120				
14	NO.13	80	135				
15	NO.14	70	150				
16	NO.15	60	150				
17	NO.16	55	140				
18	NO.17	50	138				
19	NO.18	40	130				
20	NO.19	30	100				
21	NO.20	25	75				
22							
23							

Excel の表には、測点名と X と Y の座標が入力してあります。
この XY 座標は、直角座標系ですので、測量座標系に変換する処理を付加する必要があります。

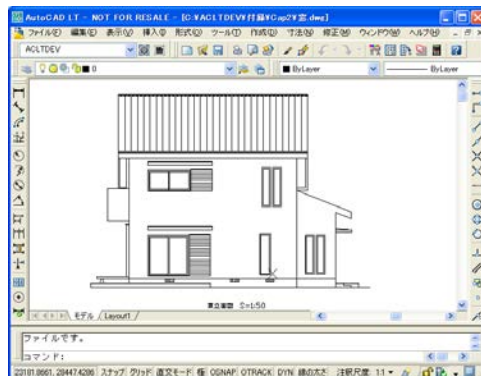
Step3-AutoCAD LT に路線と測点名が作図されます。



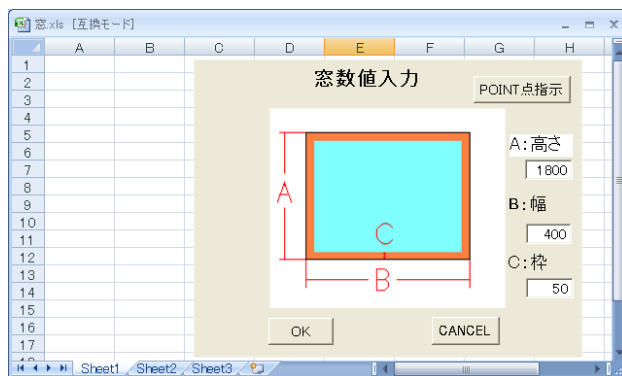
道路のクロソイド曲線や縦断図や横断図のデータなども、Excel で計算した結果を、この手法で AutoCAD LT へ転送できます。

② 窓.xls

Step1-AutoCAD LT を起動し、窓.dwg を開きます。

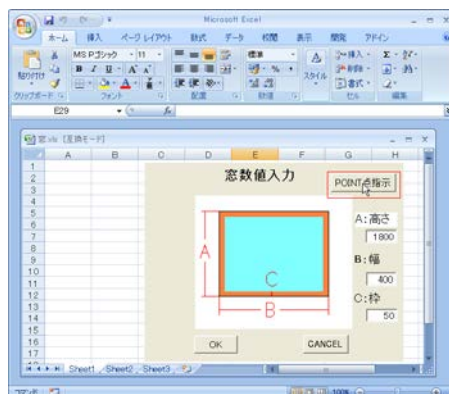


Step2-窓.xls を開きます。



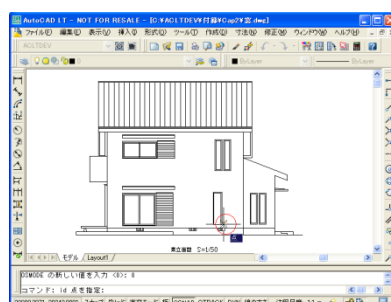
ここに貼り付けている画像（イメージデータ）は、デジカメやカタログをスキャンしたものを取り込んだ方がリアルがあります。

Step3-窓.xls の「POINT 点指示」のボタンを押します。



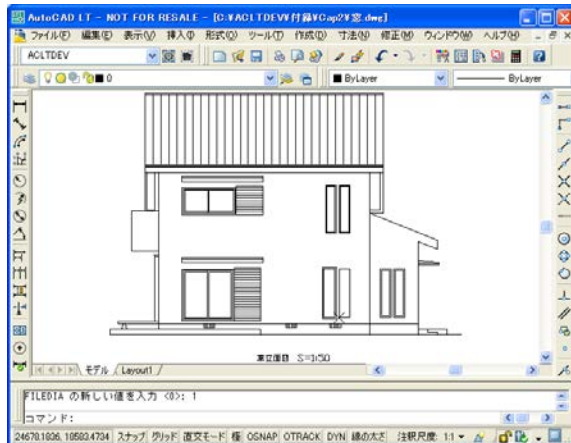
先に「POINT」を指示することがミソです。
窓を配置する座標を取得しておくためです。

Step4-AutoCAD LT の画面に移り、窓を配置したい位置をマウスで指示します。（×印の位置）



Step 5 – Excel に戻り、数値を入力して、「OK」 ボタンを押します。

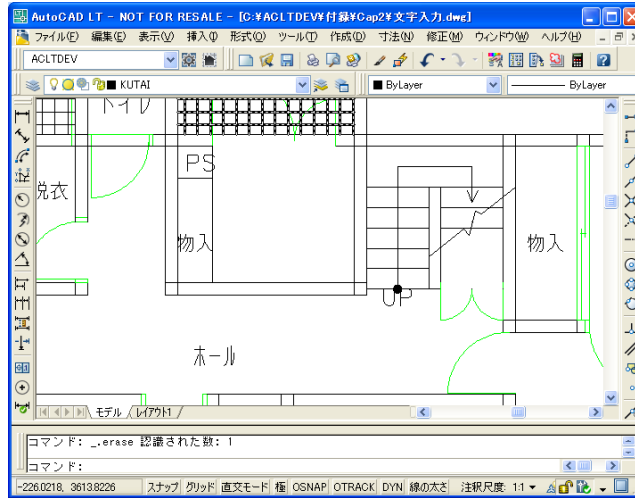
AutoCAD LT に切り替わり、窓の図形が作図されます。



Excel の各シートに、型番ごとに作成しておけば、定型の大きさ以外でも、簡単に作図挿入できます。

③ 文字入力.xls

Step1-AutoCAD LT を起動し、文字入力.dwg を開きます。



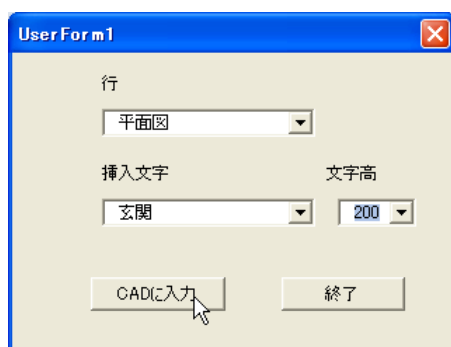
Step2-文字入力.xls を開きます。

	A	B	C	D	E
1	配置図	平面図	立面図	断面詳細図	かなばかり図
2	L字側溝	1階平面図	GL	アコースチックス張り	OP塗
3	U字側溝	2階平面図	開口部高	アスファルトルーフィング	アスファルトルーフィング
4	北	3階平面図	基礎高	アルミサッシ	雨戸
5	計画道路	DOWN	北立面図	アンカーボルトφ13	アンカーボルトφ13
6	下水道	UP	けらばの出	板野縁12×75@150	一筋カモイ50×50
7	建築物	犬走り	西立面図	一筋カモイ40×55	大引キ90×90@900
8	建築面積	居間	軒高	一筋数居45×55	外壁
9	建築面積の制限	ウォークインクローゼット	軒の出	カーテンボックスラワンOS塗	カスガイ90
10	雑種地	縁側	東立面図	カスガイ90	壁シックイ塗
11	山林	押入	ホール	壁	カモイ40×100
12	敷地の高低	階段	南立面図	カモイ40×100	ガラス戸
13	敷地面積	クローゼット	棟高	クダ柱	カワラ樫35×40@450
14	住居地域	玄関	屋根高	化粧合板張り	ガン吹付け
15	浄化槽	子供室	屋根ごう配	小屋ヅカ90×90	小屋バリ末口135
16	上水道	食堂	床高	敷居45×100	敷居45×105
17	田	寝室	縁側	繊維板厚15	繊維板厚サ15
18	宅地	洗面	押入	外壁	耐水合板厚サ6
19	地質	台所	居間	タルキ45×90@455	畳敷厚サ60
20	地目	脱衣	玄関	タルキ受45×105	タル木40×75@450
21	電柱	テラス	子供室	通シ柱	着色亜鉛鉄板厚サ0.3ワラ樫
22	電柱	床の間	寝室

Step3-文字入力.xls の「入力文字」のボタンを押します。

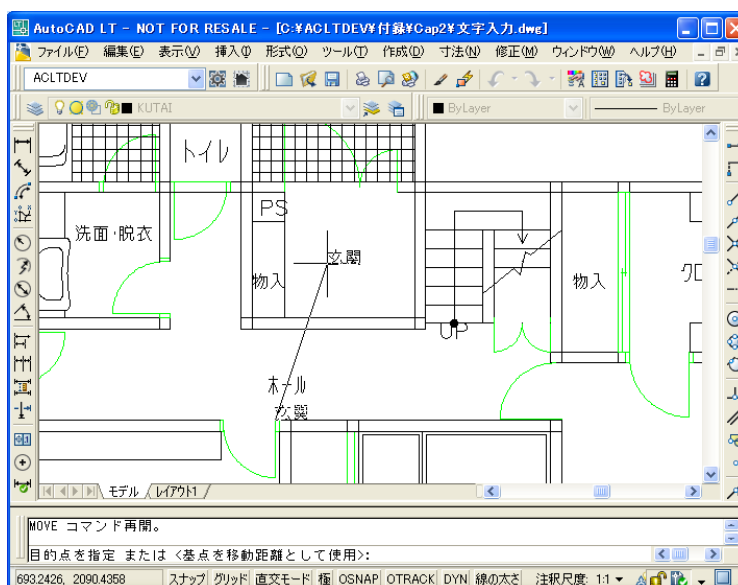
	A	B	C	D	E
1	配置図	平面図	立面図	断面詳細図	かなばかり図
2	L字側溝	1階平面図	GL	アコースチックス張り	OP塗
3	U字側溝	2階平面図	開口部高	アスファルトルーフィング	アスファルトルーフィング
4	北	3階平面図	基礎高	アルミサッシ	雨戸
5	計画道路	DOWN	北立面図	アンカーボルトφ13	アンカーボルトφ13
6	下水道	UP	けらばの出	板野縁12×75@150	一筋カモイ50×50
7	建築物	犬走り	西立面図	一筋カモイ40×55	大引キ90×90@900
8	建築面積	居間	軒高	一筋数居45×55	外壁
9	建築面積の制限	ウォークインクローゼット	軒の出	カーテンボックスラワンOS塗	カスガイ90
10	雑種地	縁側	東立面図	カスガイ90	壁シックイ塗
11	山林	押入	ホール	壁	カモイ40×100
12	敷地の高低	階段	南立面図	カモイ40×100	ガラス戸
13	敷地面積	クローゼット	棟高	クダ柱	カワラ樫35×40@450
14	住居地域	玄関	屋根高	化粧合板張り	ガン吹付け
15	浄化槽	子供室	屋根ごう配	小屋ヅカ90×90	小屋バリ末口135
16	上水道	食堂	床高	敷居45×100	敷居45×105
17	田	寝室	縁側	繊維板厚15	繊維板厚サ15
18	宅地	洗面	押入	外壁	耐水合板厚サ6
19	地質	台所	居間	タルキ45×90@455	畳敷厚サ60
20	地目	脱衣	玄関	タルキ受45×105	タル木40×75@450
21	電柱	テラス	子供室	通シ柱	着色亜鉛鉄板厚サ0.3ワラ樫
22	電柱	床の間	寝室

Step4－表示されるフォームで、挿入する文字と大きさを指定して、「CAD に入力」ボタンを押します。



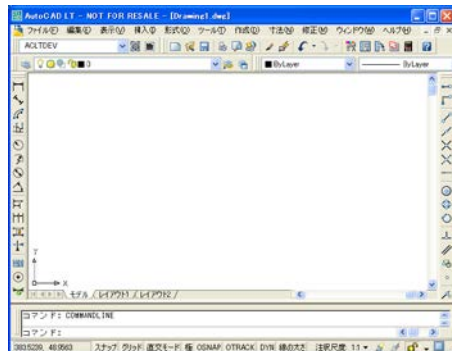
Excel の表から、コピー&ペーストでも、AutoCAD LT へ文字を挿入出来ますが、コピー&ペーストでは文字の大きさを指定できません。

Step5－AutoCAD LT の画面に切り替わり、文字を配置したい位置をマウスで指示します。



④ ブロック配置.xls

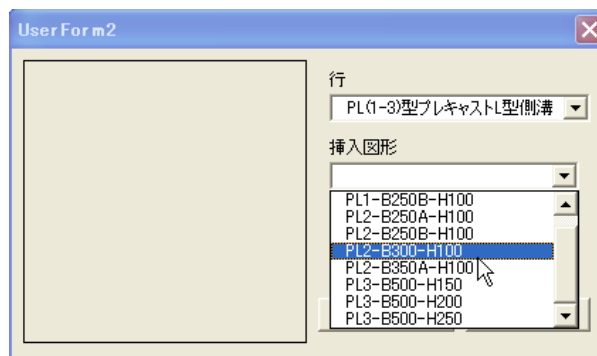
Step1-AutoCAD LT を起動しておきます。(図面は問いません)



Step2-ブロック配置.xls を起動し、「ブロック挿入」ボタンを押します。

	A	B	C
1	PL(1-3)型プレキャストL型側溝	PL(4-5)型組み合わせL型側溝	L(1-2)型場所打ちL型側溝
2	PL1-B250A-H100	PL4-B500-H150-T150	L1-B300-H300
3	PL1-B250B-H100	PL4-B500-H150-T200	L1-B300-H400
4	PL2-B250A-H100	PL4-B500-H150-T250	L1-B400-H400
5	PL2-B250B-H100	PL4-B500-H200-T150	L1-B400-H500
6	PL2-B300-H100	PL4-B500-H200-T200	L1-B500-H500
7	PL2-B350A-H100	PL4-B500-H200-T250	L2-B500-H600
8	PL3-B500-H150	PL4-B500-H250-T150	L2-B500-H700
9	PL3-B500-H200	PL4-B500-H250-T200	L2-B600-H600
10	PL3-B500-H250	PL4-B500-H250-T250	L2-B600-H700
11		PL5-B500-H150-T150	L2-B600-H800
12		PL5-B500-H150-T200	L2-B700-H700
13		PL5-B500-H150-T250	L2-B800-H800
14		PL5-B500-H200-T150	L2-B900-H900
15		PL5-B500-H200-T200	L2-B1000-H1000
16		PL5-B500-H200-T250	
17		PL5-B500-H250-T150	
18		PL5-B500-H250-T200	
19		PL5-B500-H250-T250	
20			
21			
22			

Step3-表示されるフォームで、挿入する図形と縮尺を指定して、「CAD に挿入」ボタンを押します。



Step4-AutoCAD LT の画面に切り替わり、
図形を配置したい位置をマウスで指示します。

ブロック図形は、C:\¥ACLTEDEV¥CadData の
フォルダにあります。

保存場所を変更した時は、そのフォルダ名を
AutoCAD LT のサポートファイルの検索パス
で指定おいて下さい。

(そして、Excel の VBA でも変更します。)

